

## 五條高等学校での出前授業

## ～「消費者市民社会」「エシカル消費」についての授業～

対象・日時	五條高等学校1年生 教科「家庭科」 2020年11月24日、26日 7クラス 7回 244名
テーマ	消費者市民社会について考えよう
主な内容	ニセモノを買うメリットとデメリットを考える 買い物はお金の投票 フェアトレードについて、フェアトレード商品の紹介 カカオ生産の現場の映像視聴「チョコレートの真実」(ACE) 寄付つき商品、グリーンコンシューマー、応援消費、地産地消 食品ロスの現状と“てまえどり”という行動 消費者市民社会とは、SDGsについて 自分にできることを考えよう (授業後：フェアトレードチョコレートの配布)
授業風景	昨年に引き続き、消費者市民社会についての授業を行いました。普段の買い物や生活の仕方が、社会と密接に関係していること、自分達の行動がよりよい社会・地球のために必要であることを伝えるために、様々な例を取り上げながら授業を進めました。フェアトレード商品とその仕組み、寄付つき商品や地元の生産品・被災地のものを積極的に購入すること、陳列棚の手前の商品から買う“てまえどり”をすることで食品ロスを減らすことにつながる等について紹介しました。フェアトレードについては、商品紹介だけでなく、カカオ生産の現場とフェアトレードの意味について、映像を上映しました。生徒は、初めて見る現場の様子を熱心に視聴していました。生徒からは「これからフェアトレードを意識したいと思う」「てまえどりをして食品ロスを減らしたい」「今日から消費行動を変えていこうと思う」といった感想があり、それぞれに日ごろの消費生活を考えるきっかけとなったようでした。

授業風景

